

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

戸倉三山ー静寂の里山巡りー

市道山辺りからの観望(左刈寄山、右トッキリ場)



3月半ばの春うららかな一日、奥多摩・戸倉三山に出かけた。秋川の支流・盆堀川の流域をU字型に取り囲む3つの山、刈寄山(687m)、市道山(795m)、臼杵山(842m)を総称して戸倉三山と呼ぶ。同じ奥多摩山域にあって人気の奥多摩三山などと異なり知名度も低く、静かな山歩きが楽しめる山である。

J R 武蔵五日市駅からのバスを今熊で下車し20分程歩いた今熊野神社から登山は始まる。朝9時、神社に拝礼し、神社の右脇から登山路に入る。石段が良く整備



今熊山頂の祠

された杉林の中のゆったりした登りである。植生が杉から雑木

に変わった9時半、今熊山(523m)到着。山頂には立派な石祠が鎮座になっていた。

明るい雑木林の稜線を刈寄山に向かう。

枯葉をカサコソと踏みながら10時35分新入山峠に到着し、ここから刈寄山を往



刈寄山頂のアズマヤ

復した。刈寄山頂到着10時50分。山頂にはきれいなアズマ

ヤがあり、しばしの休憩。

刈寄山から林道をしばらく歩いて入山峠に出て、ここからまた、緩やかな登り降りの連続する尾根歩き。踏みしめる枯葉のクッションが心地良い。

11時40分、トッキリ場という妙な名前のピーク。ここで稜線は右折して、市道山に向かう長い稜線歩きとなる。地図にはこの稜線名を「峰見通り」と記載されているが、この

尾根やたらと長い。ちょっとしたコブが次々と連続し、時には鎖を垂らした急登降があったりして、幾つピークを越えたか数えきれない。

13時40分市道山。狭い山頂は樹林に囲まれ眺望無し。市道山から臼杵山への稜線も小さな登下降の連続。これでもか、これでもかとピークの登り降りが続いて、15時臼杵山頂。

842mの三角点標があるのは臼杵山南峰で、北峰は更に4～5分先のところにある。北峰には小さな祠があり、社前に1対の狛犬がいる。この狛犬の表情が犬ともつかず猫ともつかず、何ともユーモラスだった。



臼杵山頂の狛犬

下山は、臼杵山から荷田子集落に向けグミ尾根を辿る。標高差600mの大下降であるが、長大な尾根のなだらかな下りのお蔭で、足腰にあまり負担も感じずに16時50分、荷田子のバス停に辿り着いた。人一人にも会わない静寂の里山歩きの一日だった。